

鎌田 茂雄 国際仏教学大学院大学教授

今西 順吉 国際仏教学大学院大学教授

杉山 二郎 国際仏教学大学院大学教授

鳥居 達久 国際仏教学大学院大学  
博士課程

早川 道雄 国際仏教学大学院大学  
博士課程

Max Deeg ヴュルツブルク大学講師

Hubert Durt 国際仏教学大学院大学教授

津田 眞一 国際仏教学大学院大学教授

北野 新太郎 国際仏教学大学院大学  
博士課程

四津谷 孝道 国際仏教学研究所  
専任研究員

原 實 国際仏教学大学院大学教授

ハイデッカーの「ことばについての対話」  
（理想社、一九六八年）を読み衝撃を受けた。

此は戦後間もない一九五四年の春ワライブルクに訪ねて来た東京大学の手塚富雄教授との対話をハイデッカーが後日再構成したものであるが、私が改めて驚いたのはハイデッカーではなく、手塚教授に対してであった。それにしては当時の手塚教授の学問に既にしてその大きさと高さをもたらししていたものは一体何であったのか。それは手塚教授がその極度の困窮の中に自覚的に置いた日本の戦中・戦後という時代以外のものではなかったであろう。そして、これはなにも手塚教授一人だけのことではなかったのである。

しかし、学問というものがその全体的なあり方においてこのような大きな歴史の運命に規定されているものであるなら、今日、私たちは、ことに仏教学という自らの運命において、一体何をなし得るのか。データ・ベースとやらを廃棄し、さらにコピー機をも廃棄してひたすら自分の目で読み、手で書くことによって、われわれは自らの学問を戦後の水準

にまで回復し得るのであるうか。

本号から博士課程後期の学生の論文を載せることにした。長年の訓練を要する仏教学において、それはいきおい習作的なものであらざるを得ず、その点を危惧する声もあつたが論文を書くための訓練は本学の存在理由に浴うものであるので、敢えて書かせた。忌憚のない御教示・御批判を頂けるなら幸である。

(S・T)

平成十二年三月二十五日 印刷  
平成十一年三月三十一日 発行

国際仏教学大学院大学  
研究紀要（第二号） （非売品）

発行者 原 實  
発行所 〒100-0001

東京都港区虎ノ門五丁目二十二番三  
国際仏教学大学院大学  
電話（〇三三）三四三四一六九五三

印刷所 〒100-0002

東京都千代田区内神田二丁目一  
富士リプロ株式会社